

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2023年																	
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月 ~6日	8月 ~13日	8月 ~20日
カンピロバクター	64	99	99	47	48	99	77	32	48	30	46	63	57	67	75	15	3	14
病原性大腸菌	88	90	30	53	40	44	45	81	47	37	55	103	120	108	102	14	11	14
腸管出血性大腸菌	1	1	10	2	0	2	0	0	1	1	4	1	0	1	0	0	0	0
サルモネラ	5	3	16	12	12	14	5	3	7	2	2	7	7	13	25	1	1	4
黄色ブドウ球菌 MSSA	32	22	26	19	13	20	18	11	15	10	13	14	21	8	12	1	8	1
黄色ブドウ球菌 MRSA	28	9	17	18	15	16	20	14	13	10	14	15	14	10	11	2	1	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
その他	1	3	4	1	5	4	1	2	1	1	2	0	0	4	8	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	5	7	3	2	2	6	0	0	1	2	2	2	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	1	0	0	0	1	2	14	11	6	1	1	0	0	0	0	0

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第33週(8月14日~8月20日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	11	結核	11	1		5		3		2
三類	0	発生なし	0							
四類	3	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	1							1
		日本紅斑熱	2			1				1
五類	10	ウイルス性肝炎	1					1		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2				1	1		
		梅毒	7	1		1		5		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり7.33人の報告がありました。暑さで体調を崩しやすい時期です。規則正しい生活や毎日の食事・睡眠など健康管理に気を付け、手洗い、密の回避、換気、マスクの効果的な場面での着用など、基本的な感染対策に、引き続き取り組みましょう。

2 手足口病

定点当たり1.88人の報告があり多い状況です。

3 梅毒

今年の累計は188件となり、感染症法施行以降で最多となった昨年に次ぐ多さ(昨年同時期209件)となっています。梅毒は性的な接触により感染し、治療せずに放置すると、脳や心臓などに重大な病変を起こすことがあるため、早期発見・早期治療が大切です。

【参考】梅毒(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/syphilis.html



梅毒の年間報告数の推移(広島市)



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	24	0.67	0.02			小児科	ヘルパンギーナ	11	0.46	0.34		
	新型コロナ(COVID-19)	264	7.33					流行性耳下腺炎	1	0.04	0.05		
小児科	RSウイルス感染症	9	0.38	1.18			眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05		
	咽頭結膜熱	11	0.46	0.16				流行性角結膜炎	2	0.25	0.59		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	30	1.25	0.63			基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	41	1.71	1.85				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	水痘	3	0.13	0.13				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03		
	手足口病	45	1.88	0.82				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	伝染性紅斑	-	-	0.01				感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.03		
	突発性発しん	2	0.08	0.22									

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (緑) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

今週(第33週)は、お盆の休診の影響で、報告数が少なくなっている可能性があり、前週(第32週)と適正な比較ができないことから、発生記号は表示していません。

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	87	10歳代・1人、50歳代・2人
5	ウイルス性肝炎	1	5	30歳代・B型
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	7	70歳代
5	梅毒	5	188	20歳代・1人、30歳代・1人、40歳代・2人、60歳代・1人